

令和元年度 公益財団法人可児市文化芸術振興財団事業報告

鑑賞体験促進事業			
	事業名	事業内容	実施日／会場
1	かに寄席「新緑落語会」	かに寄席納涼、初席に続く新企画で、若手落語家による寄席。今年秋に真打昇進が決まった兩名による高座で、普段のかに寄席より若い客の姿が見られた。小劇場で観客との距離も近く、納涼・初席と違った落語の楽しみ方を提案できた。 【出演】柳家わさび、柳亭小痴楽	令和元年5月6日(月・祝) ／小劇場
2	音楽の絵本	0歳から入場できる、親子・3世代での鑑賞が可能な本格的なコンサート。母の日に合わせて開催し、子どもにカーネーションを配布することで、親子のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを行った。 【出演者】ズーラシアンブラス(金管五重奏)、弦うさぎ(弦楽四重奏)	令和元年5月12日(日) ／主劇場
3	かに寄席「納涼」	夏の恒例企画として定着した落語公演。柳亭市馬、立川談笑に加え、今注目を集めている講談師の神田松之丞が登場。早い段階で完売となった。 【出演】柳亭市馬、立川談笑、神田松之丞(講談)	令和元年8月31日(土) ／主劇場
4	錦織健テノール・リサイタル	オペラに留まらず、ジャンルを超えて幅広く活躍する歌手・錦織健のアーラ初登場となるリサイタル。オペラだけでなく日本歌曲、クイーンなど多様な客層が楽しめるステージとなった。 【プログラム】山田耕筰/この道、滝廉太郎/荒城の月、菅野よう子/花は咲く、プッチーニ/誰も寝てはならぬ、クイーン/伝説のチャンピオン ほか 【出演】錦織健(テノール)、多田聡子(ピアノ)	令和元年10月14日(月・祝) ／主劇場
5	かに寄席 初席	新年恒例の落語。6年ぶりのアーラ登場となる春風亭小朝の独演会。幟や花餅での飾り付け、開場前の東濃実業箏曲部による演奏など、雰囲気づくりをおこなった。 【出演】春風亭小朝	令和2年1月19日(日) ／主劇場
鑑賞体験促進事業(地域拠点契約公演)			
	事業名	事業内容	実施日／会場
1	文学座公演「ガラスの動物園」	地域拠点契約を結んでいる劇団・文学座による演劇公演。戦後アメリカを代表する劇作家テネシー・ウィリアムズの名作を上演した。 【作】テネシー・ウィリアムズ 【演出】高橋正徳 【出演】塩田朋子、亀田佳明、池田倫太郎、永宝千晶	令和元年7月24日(水) 令和元年7月25日(木) ＜全2回公演＞ ／小劇場
2	新日本フィルハーモニー交響楽団サマー・コンサート2019	指揮者の井上道義がアーラに初登場し、岐阜県出身ヴァイオリニストの辻彩奈と共演した。演奏曲に田園、ヴァイオリン協奏曲、フィンランディアと繋げ、会場を盛り上げた。 【プログラム】ベートーヴェン/交響曲第6番へ長調「田園」op. 68、シベリウス/ヴァイオリン協奏曲ニ短調op. 47、交響詩「フィンランディア」op. 26 【出演】井上道義(指揮)、辻彩奈(ピアノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)	令和元年8月24日(土) ／主劇場
3	新日本フィルハーモニー交響楽団ニューイヤー・コンサート2020	地域拠点契約を結んでいる新日本フィルによるコンサート。アーラ5回目の登場となる指揮者・広上淳一を迎え、名曲を取り揃えた豪華なプログラムで新年を迎えた喜びを演出した。 【プログラム】グリムカ/歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲、J. シュトラウスⅡ/ワルツ「美しく青きドナウ」、アンネン・ポルカ、ロンビ/女王ルイーゼのワルツ、エルガー/威風堂々第1番、ワルトトイフェル/スケーターズ・ワルツ	令和2年1月5日(日) ／主劇場

鑑賞体験促進事業（自主企画・制作公演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	風間杜夫落語独演会	俳優の風間杜夫による落語独演会。「粗忽長屋」「芝浜」を披露。上演後に館長とのアフタートークも実施した。 【出演】風間杜夫	令和元年11月28日(木) ／小劇場
2	グリーンコンサート	無料の屋外コンサート。産業フェアなど既存の催しに合わせて開催し、アーラを訪れた多くの来館者に鑑賞いただいた。 【出演】IBUKI、デラハコ、ミチコロンプス、キシモトジュンイチ、比翼鳥	令和元年6月8日(土) ～10月26日(土) <全5回> ／水と緑の広場

鑑賞体験促進事業（共催公演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	ウィーン V. ルジェリウスピアノ三重奏団	ヴァイオリン、チェロ、ピアノによるコンサート。演奏の他に、クラシックの歴史や演奏曲に関する逸話などのトークを交え、気軽に楽しめる構成とした。 【プログラム】ジーツィンスキー／ウィーン我が夢の街、クライスラー／ウィーン奇想曲、シュトラウスII／ワルツ「ウィーン気質」ほか 【出演】森川耕太（ヴァイオリン）、森川敏子（チェロ）、黒木由香（ピアノ）	令和元年7月28日(日) ／小劇場
2	新日本フィルメンバーと仲間たち～弦楽四重奏&クラリネットが奏でる至福の音楽～	新日本フィルハーモニー交響楽団のビルマン総平（2ndヴァイオリン首席奏者）、長谷川彰子（首席チェロ奏者、多治見市出身）をはじめとするメンバーによる弦楽四重奏に南西ドイツ放送交響楽団首席クラリネット奏者のディルク・アルトマンを迎えたコンサート。従前から広報に力を入れ、完売となった。 【出演者】白井圭、ビルマン聡平、長谷川彰子、瀧本麻衣子、ディルク・アルトマン	令和元年9月23日(月・祝) ／小劇場
3	チェコ・フィルハーモニーブリステン with 吉鷹奈津子	市内在住ピアニスト・吉鷹奈津子とチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者たちによる室内楽。 【プログラム】ドヴォルザーク・ファンタジー、クライスラー/愛の喜び、愛の悲しみ、プッチーニ/ある晴れた日に、誰も寝てはならぬ、エルガー/愛の挨拶ほか 【出演】吉鷹奈津子（ピアノ）、オタ・バルトシュ（ヴァイオリン）、ヤロスラフ・ポンヂェリーチェク（ヴァイオリン）、フランティシェク・ホスト（チェロ）	令和元年12月8日(日) ／主劇場
4	美輪明宏講演会「生きやすい生き方」	巧みな話術で人気を誇る美輪明宏の講演会。幅広い年齢層が購入し、完売となった。	令和2年2月11日(火) ／主劇場
5	音楽家の集い	プロのクラシック演奏家によるロフトを活用したコンサート。演奏家に近い距離で、気軽に鑑賞する機会を提供した。クラシックの他、ジャズやアルゼンチン音楽など各回趣向を変え、幅広い音楽を提供した。子ども向け公演も行った。 【主なプログラム】ジャズ、クラシック、ラテン民謡、タンゴ、童謡ほか	令和元年5月27日(月)～令和2年2月6日(木) <全7回> ／音楽ロフトほか

鑑賞体験促進事業（映画事業）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	アーラ映画祭2019	映画館が無い可児市で映画祭を開催し、日本映画を6本上映した。実行委員会が作品選定や運営を行った。昨年に引き続き、聴覚障がい者に向けたバリアフリー字幕を取り入れ、様々な環境の人が映画を鑑賞する機会を設けた。 【上映作品】日日是好日、洗骨、ぼけますからよろしくお願ひします、若おかみは小学生！、万引き家族、カメラを止めるな！ 【ゲスト】濱津隆之（俳優）、市橋浩治（プロデューサー）	令和元年11月15日(金) ～11月17日(日) ／小劇場

2	アール・キネマ倶楽部	映画館が無い可児市で映画を鑑賞できるよう、毎月1作品を上映した。10月には35mmフィルムで戦後の国内優秀映画を上映するなど、幅広いジャンルの作品を提供した。 【主な上映作品】輝ける人生、30年後の同窓会、グリーンブック ほか	通年 ／映像シアター
---	------------	--	---------------

鑑賞体験促進事業（収益目的事業）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	岩崎宏美コンサートツアー	日本を代表する実力派シンガー岩崎宏美のコンサート。2009年以来10年ぶりのアール公演。 名曲カバーからオリジナルヒット曲まで、抜群の歌唱力を披露した。	令和元年11月24日(日) ／主劇場

まち元気・市民交流促進事業（自主企画・制作公演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	（地域拠点契約関連企画） 新日本フィルハーモニー交響楽団員によるオープン・シアター・コンサート	障がい者や乳幼児の家族など、劇場で音楽を楽しむことが難しい人に生の演奏を届けるコンサート。施設や学校以外に出かけることの少ない障がい者にとって、社会との重要な接点となっている。会場は車椅子席を増やしたり、床に座れる自由席を設けるなど、来場者に合わせたレイアウトに配慮した。 【プログラム】モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク、ピアソラ/リベルタンゴ、もののけ姫、崖の上のポニョ、さんぽ、米津玄師/パプリカ ほか	令和元年6月13日(木) ／主劇場
2	日英国際交流事業 ToSeeYou, AtLastプロジェクト	英国のリーズ・プレイハウスと共同で制作した演劇公演。東京と英国の若者たちが、交流を深めながら作品を作り上げた。日本の若者は池袋の豊島子どもWAKUWAKUネットワークに人選協力を依頼した。東京で日本人のみの発表会を経て、東京と可児で1回ずつ上演した。 【演出】アレックス・フェリス、藤井ごう	日本チーム発表会 令和元年6月22日(月)／ファミリー・アーツ・スタジオ 東京公演 令和元年8月10日(土)／あうるすぽっと 可児公演 令和元年8月12日(月・祝)／演劇ロフト
3	森山威男ジャズナイト2019	森山威男を中心としたトッププレイヤーによる恒例のジャズコンサート。迫力ある生演奏で、幅広い観客層に対して魅力あるコンサートを行った。 【出演】森山威男、渡辺ファイアー、川嶋哲郎、佐藤芳明、田中信正、水谷浩章、相川瞳	令和元年9月21日(土) ／主劇場
4	多文化共生プロジェクト2019「にぎやかなお葬式」	外国籍・日本国籍の市民による演劇公演。「お葬式」をテーマに国ごとの風習の違いや衝突、多様性を知りお互いが分かり合うことを表現した。稽古を通して、国籍の違う参加者同士の交流の場となった。 【演出】鹿目由紀（劇団あおきりみかん）	令和元年9月22日(日) ／演劇ロフト
5	シリーズ恋文vol.10	俳優2名と演出家を招き、可児市に滞在しながら作品を作り上げる朗読公演。台本は秋田県二ツ井町で行われていた「恋文コンテスト」の作品を元に構成した。 【演出】鈴木聡（ラップ屋主宰） 【音楽】黒木由香 【出演】辰巳琢郎、木の実ナナ	令和元年11月2日(土) ～3日(日・祝) ／小劇場

6	日英共同制作公演 「野兎たち」東京公演	英国リーズ・プレイハウスと共同制作した。日英両国から選ばれたキャスト・スタッフが9ステージを上演した。鑑賞者にバラを配布するなど、可児市をアピールすることができた。 【作】ブラッド・バーチ 【演出】マーク・ローゼンブラット、西川信廣 【出演】スーザン・もも子・ヒングリー、小田豊、七瀬なつみ、サイモン・ダーウェン ほか	令和2年2月8日(土) 令和2年2月16日(日) ／新国立劇場
7	日英共同制作公演 「野兎たち」英国 リーズ公演	英国リーズ・プレイハウスと共同制作した。東京公演・可児公演を経て英国リーズ・プレイハウスにて上演した。新型コロナウイルス感染拡大のため、3月16日から21日までの公演は中止となった。 【作】ブラッド・バーチ 【演出】マーク・ローゼンブラット、西川信廣 【出演】スーザン・もも子・ヒングリー、小田豊、七瀬なつみ、サイモン・ダーウェン ほか	令和2年3月12日(木) 令和2年3月14日(土) ／リーズ・プレイハウス

まち元気・市民交流促進事業（提携公演）

	事業名		実施日／会場
1	シリーズ恋文vol.8 豊橋公演	アーラの自主事業を県外で上演し、全国に向けたブランディングを進めた。公演先の豊橋は出演者の平田満（PLAT前芸術監督）、竹下景子（主催企業のイメージキャラクター）共に縁があり、来場者に喜んでいただけた。	平成31年4月6日(土) ／穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）
2	シリーズ恋文vol.10 ツアー公演	アーラの自主事業を県外で上演し、全国に向けたブランディングを進めた。公演先は豊田市と「恋文」のコンテストを行った旧二ツ井町で、豊田市は初開催となった。	令和元年11月4日(月・振休) ／愛知県豊田市 令和元年11月10日(日) ／秋田県能代市
3	世界劇場会議 国際 フォーラム2020inさいたま	アーラの自主企画を県外で実施し、全国に向けたブランディングを進めた。アーラで開催した同フォーラムと同じ内容のセッションをさいたま市で開催することにより、関東・東北・北陸の方々にとって充実した学びの場を提供できた。さいたま市での開催は3年連続となった。	令和2年2月4日(火) 令和2年2月5日(水) ／さいたま市文化センター

まち元気・市民交流促進事業（普及啓発事業：ワークショップ）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	可児市初任者研修 ワークショップ	市委託事業として実施。小中学校の初任者教員を対象にしたワークショップ。演劇の手法を取り入れたゲームなどを体験し、自然にコミュニケーションを取る方法などを学んだ。それぞれの活動の意図も学び、教師のスキルアップにつながった。 【講師】Ten seeds	令和元年7月24日(水) ／レセプションホール
2	(地域拠点契約関連企画) 子ども向け演劇公演 「さるかに合戦」	市民キャストを募り、文学座の指導を受けながら3日間の稽古で子ども向け舞台を制作した。公演時には来場者（子どもたち）が劇中で使うメガホンを作り、劇中に参加できるようにするなど、子どもたちが劇に集中できる演出を組み込んだ。 【出演】高柳絢子、相川春樹、大野香織 【演出協力】乗峯雅寛	令和元年8月31日(土) ～9月1日(日) ／演劇練習室
3	みんなのディスコ	障がいの有無、国籍、性別、年齢の垣根なくダンスや音楽などを楽しみ交流する場を開催した。ヘアメイク・仮装グッズ作成ワークショップ、バルーンアート展示も行い、参加者がディスコの雰囲気をもっと楽しめる企画となった。	令和元年9月28日(土) ／各ロフト

4	ALRA海外研修	英国の演劇学校（ALRA）が演出修士コースの海外研修先としてアーラを拠点に選定し、約2週間の研修を行った。期間中は小学校での演劇ワークショップ、高齢者サロンでの茶話会など、地域で積極的に交流した。また3日間のシアターキャンプも実施し、日本の俳優・演出家とともに自らの演技術や演出方法を原点から確認したり、お互いのアイデアを出し合う活動を行った。	令和元年10月7日(月)～10月17日(木) ／南帷子小、兼山小、ミニカフェくるみ、演劇ロフト
5	(LP業務提携) 英国人講師による演劇ワークショップ	英国で行われている演劇教育プログラムを小中学校で実施した。子どもたちも知っているスイミーを題材に、表現力やコミュニケーション能力、想像力を養った。ワークショップリーダー入門講座も開催し、20人を超える参加希望者があるなど好評であった。 【講師】ジェマ・ウォッフィンデン（リーズ・プレイハウス）	令和2年1月13日(月) 令和2年1月17日(金) ／美術ロフト、東可児中、兼山小、今渡北小
6	(地域拠点契約関連企画) 親子で楽しむコミュニケーション・ワークショップ	ひとり親家庭の親子を主な対象とした演劇ワークショップ。ワークショップを体験する中で、言葉に頼らずコミュニケーションをとることやチームで表現する楽しさを学んだ。 【講師】植田真介、浅海綾子、佐藤麻衣子（文学座）	令和2年1月26日(日) 子育て健康プラザmano
7	児童・生徒のためのコミュニケーションワークショップ	市委託事業として実施。小中学校でコミュニケーションゲームや、グループで協力して表現する活動を行い約1,900名が参加した。ワークショップを通して周囲に気を配る視点が生まれたり、雰囲気になれず自分の意見を発表する様子が見られた。 【講師】Ten seeds（劇・遊び・表現活動集団）、新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト）	平成31年4月18日(木) 令和元年7月18日(木) 令和元年10月3日(木) 令和元年12月19日(木) ＜全62回＞ ／市内小中学校
8	スマイリングワークショップ	市委託事業として実施。不登校児童・生徒の通う特別教室でワークショップを行った。ゲーム形式の活動を多く取り入れ、子どもたちが負担を感じず参加できるよう工夫した。ワークショップに参加する中で、周囲と会話するなどコミュニケーションを取る姿が見られた。 【講師】Ten seeds（劇・遊び・表現活動集団）、新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト）	平成31年4月18日(木) 令和元年7月18日(木) 令和元年10月3日(木) 令和元年12月19日(木) ＜全9回＞ ／教育研究所
9	親子de仲間づくりワークショップ	楽器や布、新聞紙などを使って身体を動かしたり、遊びや絵本など親子で楽しめるワークショップ。終了後は会場を開放し、参加者同士でお弁当を食べるなど、仲間づくりにつながった。 【講師】Ten seeds（劇・遊び・表現活動集団）、新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト）	平成31年4月17日(水) 令和元年7月17日(水) 令和元年10月2日(水) 令和元年12月18日(水) ＜前後期とも2チーム各6回＞ ／レセプションホール
10	ココロとカラダの健康ひろば	演劇、ダンスの手法を用いた高齢者向けのワークショップ。参加者同士が講座のない日にも集まるような関係に発展し、高齢者の閉じこもり予防にもつながった。 【講師】Ten seeds（劇・遊び・表現活動集団）、新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト）	平成31年4月17日(水) 令和元年7月17日(水) 令和元年10月2日(水) 令和元年12月18日(水) ＜前後期各10回＞ ／レセプションホール
11	アーライルミネーション	「夢と希望」をテーマに、イルミネーションで会場を華やかに彩った。期間中は毎晩1組のお客様による点灯式を開催し、参加者の思い出づくりに貢献した。初日にはアーラクルーズがオリジナルランプシェードを作るワークショップを開催し、参加者全員で点灯式を行った。	令和元年12月7日(土) 令和2年2月2日(日) ／水と緑の広場
12	水と緑の広場で天体観測	今年度新たに立ち上げた事業で、夏、秋、冬と星空の変化に合わせて天体観測会を3回実施。天体観測工作キット等の組み立てや天体に関するゲームも行い、アーラに来る機会の少ない小学校の子どもを持つ家族にアーラを知っていただく機会になった。	令和元年7月27日(土) 令和元年9月14日(土) 令和元年12月6日(金) ／水と緑の広場

13	「アーラ みんなのピアノ」プロジェクト	「夢・希望を紡ぐピアノ」としてアーラに寄贈されたピアノを使用し、「ピアノを弾きたい」という夢を抱く子どもたちに、地元ピアノ講師が立ち会い、その機会を作った。26名の子どもたちが参加し、ピアノ講師17名が交代で立ち会い、延べ447回実施した。	通年
----	---------------------	--	----

まち元気・市民交流促進事業（普及啓発事業：アウトリーチ）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	(地域拠点契約関連企画) ala芸術宅配便 「新日本フィルおでかけコンサート」	新日本フィルハーモニー交響楽団員が病院や介護保険施設、小学校に出向いて出前授業を実施した。年代や会場に合わせた曲目で構成し、観客から好評を得た。また演奏家が指導して実際に楽器を演奏するなど、音楽を身近に楽しむ体験を提供した。 【出演】ビルマン聡平、田村直貴、竹中勇人、澤田和慶(ヴァイオリン)、高橋正人(ヴァイオリン)、多田麗王、矢田晶子(チェロ)、藤井将矢(コントラバス)、	令和元年6月12日(水)、14日(金)、19日(水)、20日(木)、21日(金) ／春里苑、プルメリア、可茂特別支援学校、広見小、フローレ川合、可児とうのう病院付属介護保健施設、可児とうのう病院
2	アーラ未来の演奏家プロジェクト2019	実力派の演奏家が可児市に5日間滞在し、小学校への出前授業、公開リハーサルやロビーコンサートなどを実施した。個人レッスンや茶話会など演奏家と直接交流する取り組みも行い、市民に音楽を身近なものとして感じてもらえた。 【企画・解説】佐野秀典(作曲・編曲家) 【出演】森浩司(ピアノ)、長谷川彰子(チェロ)	令和元年6月26日(水) 令和元年6月30日(日) ／今渡南小、土田小、美術ロフト ほか
3	(地域拠点契約関連企画) ala芸術宅配便 「文学座おでかけ朗読会」	文学座の俳優が中学校に出向き、小説や父母への手紙を朗読した。対象年齢に合った作品を選ぶことで生徒が集中して聞く環境をつくり、感想や意見なども多く引き出すことができた。 【出演】山崎美貴 【プログラム】あいあい傘、父母への手紙(2編)	令和元年7月1日(月) 令和元年7月5日(金) ／蘇南中、中部中、西可児中、広陵中学校

まち元気・市民交流促進事業（普及啓発事業：講座・講演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	アーラみんなの同窓会	これまでの市民参加型事業の参加者を一堂に集めた交流会。再会を喜び合う場と共に、各年度の参加者同士による新しい出会いの場となった。	令和元年9月8日(日) ／美術ロフト
2	町が元気になる処方箋	ゲストと館長が、地域課題や公共劇場のあり方を議論し考える公開座談会。経済学の視点から考える幸福感や地域づくりをテーマに意見を交わした。 【ゲスト】平田オリザ(劇作家)、八木匡(同志社大学経済学部教授)	令和元年11月16日(土) ／演劇ロフト
3	世界劇場会議 国際フォーラム2020in可児	先駆的な劇場経営を行っている英国の論客等を迎え「文化芸術の社会包摂」、その社会的価値をとらえなおす」をテーマに討論会を開催した。 【パネラー】 セーラ・ジー(芸術文化コンサルティング会社インテリオ社業務執行役員)、ジョナサン・ハーパー(パフォーミング・アーツ&ダンスCEO)、カス・ラッセル(ハル管弦楽団資金調達部部長)、中村美亜(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)、栗林知絵子(豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)、藤井昌彦(東北大学医学部臨床教授)、前田有作(日本演劇情動療法協会理事長)	令和2年1月30日(木) 令和2年1月31日(金) ／小劇場
4	歌舞伎とおしゃべりの会	歌舞伎をきっかけに、日本文化や匠の技を楽しく学ぶ講座。大河ドラマにもなった明智光秀をテーマにした講座を開催するなど、地域住民が参加しやすい講座を心がけた。 【講師】葛西聖司(歌舞伎研究家)、木ノ下裕一(木ノ下歌舞主宰)、中村橋吾(歌舞伎役者)、山崎徹(附け打ち) 【ゲスト】中村錦之助(歌舞伎役者)、笑福亭松喬(落語家)、鶴澤清志郎(文楽三味線)、豊竹靖太夫(文楽太夫)	令和元年5月18日(土) ～令和2年2月29日(土) <全7回> ／映像シアター、演劇ロフト ほか

まち元気・市民交流促進事業（人材育成事業）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	平田オリザの対話を考えるモデル授業	劇作家の平田オリザを講師に迎えて実施する演劇ワークショップ。今回は介護保険事業所や高齢者サロンの関係者を対象に、相手との関係づくりについて、演劇の手法や考え方を取り入れたコミュニケーションを学んだ。 【講師】平田オリザ（劇作家）	令和元年11月16日（土） ／レセプションホール
2	劇場に関わる人のためのアートマーケティング・ゼミ「あーとま塾2019」	地域における劇場の役割について、マーケティングや社会包摂、文化政策などをテーマに全国各地の劇場関係者と意見交換を行った。 【講師】八木匡（同志社大学経済学部教授）、笹路健（経済産業省中小企業庁中小企業政策上席調整官）、幸地正樹（ケイスリー㈱代表取締役）、今尾江美子（同ディレクター）、落合千華（同取締役）、早川悟司（児童養護施設「子供の家」施設長）、野田大順（児童養護施設「亀山学園」副施設長）、多田周平（㈱サニーサイド代表取締役社長）	令和元年5月30日（木） 令和元年5月31日（金） 令和元年10月16日（水） 令和元年10月17日（木） 令和2年2月1日（土） 令和2年2月2日（日） ／音楽ロフト ほか
3	森山威男ドラム道場	市内在住のジャズドラマー・森山威男を講師に迎え、演奏技術をグループレッスン形式で学ぶ講座。2月には道場生の実践の場としてゲストミュージシャンとのライブを開催した。 【講師】森山威男 【ゲスト】永武幹子（ピアノ）、守谷美由貴（サクソ）、田中信正（ピアノ）	通年＜週1回＞ ／音楽ロフト ほか ライブ： 令和2年2月7日（金） 令和2年2月28日（金）

まち元気・市民交流促進事業（芸術団体等支援）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	市民演劇支援	高校演劇中濃地区大会の開催に際し、良好な環境で公演を進められるよう、実行委員会を支援した。事前の講義では財団の舞台技術職員が舞台の組み方、音響機器や照明の操作などを教え、大会が円滑に進行した。	令和元年6月16日（日） 令和元年7月19日（金） ～21日（日） ／小劇場
2	ROCK FILL JAM in ala 2019	アーティストのライブ演奏など、音楽を軸にしながら、グルメ、小物などのマルシェ、ワークショップなど幅広い年代が1日過ごせる空間づくりを行った。	令和元年8月4日（日） ／各ロフト、レセプションホール ほか
3	可児常磐津教室支援	アーラ主催の常磐津ワークショップ受講生が立ち上げた自主教室について、発表会の会場提供や発表会の周知などの支援を行った。 【講師】常磐津巴瑠幸太夫	通年 おさらい会：令和2年2月9日（日）
4	可児歌舞伎支援	市内で活動する地歌舞伎保存会の活動支援。可児歌舞伎メンバーが「歌舞伎とおしゃべりの会」でフロント業務を行うことで、活動が広く認知されるようになった。今年は、岐阜県「地歌舞伎勢ぞろい」公演に向けて稽古場を提供した。	通年
5	紙芝居一座支援	アーラ主催の文学座朗読ワークショップ受講生が立ち上げた自主活動を支援した。地区センターで公演するなど、地域での活動を展開した。	通年
6	市民活動支援	alaクルーズの以下の事業を支援した。 ・アーライルミネーション ・手づくりランプをつくろう!!ワークショップ ・フロントスタッフ活動、広報誌発行、ボランティア研修、先進地視察等	通年

まち元気・市民交流促進事業（市委託事業）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	可児市音楽祭	市委託事業として実施した。市内を拠点に活動する8団体が出演し、うち4団体は市内高校・中学校の吹奏楽部であった。当日の来場者は720名を超え、前年の約1.5倍となった。	令和元年7月7日(日) ／主劇場
2	エイブル・アート展	市委託事業として実施。障がいを持った作家と特別支援学級児童・生徒による作品の展覧会。今回はサテライト会場として子育て健康プラザmanoにも作品を展示した。通常の展示のほか、県教育文化財団と連携し、自由に工作やアート体験のできるオープンアトリエも開催した。	令和元年7月17日(水) 令和元年7月24日(水) ／美術ロフト、演劇練習室、子育て健康プラザmano
3	可児市美術展	市委託事業として実施した。洋画、日本画、書道、彫塑工芸・デザイン、写真の5部門で269作品の応募があった。今回から可児市にちなんだ「光秀賞」、高校生を対象にした「薔薇賞」を新設し、より多くの方を表彰した。	令和元年11月27日(水) ～12月1日(日) ／ロフト、レセプションホール ほか
4	可児市文芸祭	市委託事業として実施した。小・中学生の部は2,412点、一般の部は1,463点の応募があり、小中学生の部の応募が大幅に増加した。優秀賞以上の作品についてはギャラリーに展示し、最終日に表彰式と文学座俳優による文芸祭賞受賞作品の朗読会を開催した。 【朗読】山本郁子（文学座）	令和元年12月4日(水) 令和元年12月8日(日) ／ギャラリー、演劇ロフト ほか
5	日英共同制作公演 「野兎たち」可児公演	市委託事業として実施。英国リーズ・プレイハウスと共同制作した。日英両国から選ばれたキャスト・スタッフが12月のリーズ稽古、1月のアーラ稽古を経て7ステージを上演した。 【作】ブラッド・バーチ 【演出】マーク・ローゼンブラット、西川信廣 【出演】スーザン・もも子・ヒングリー、小田豊、七瀬なつみ、サイモン・ダーウエン ほか	令和2年2月22日(土) 令和2年2月29日(土) ／小劇場

各事業会計共通

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	広報宣伝事業	チケットシステムを活用した多彩なチケットの販売と、月刊広報紙「ala TIMES」の作成・配布、ホームページ等による幅広い広報宣伝活動を行った。 また、定例記者懇談会を開催し、新聞等のメディアに情報発信するとともに、広報番組「きてみてアーラ」の制作放送、FMらら、FMPiPi、メールマガジン、新聞折り込みチラシ、プロッシャー、まち元気プロジェクト・レポート、公演専門誌MEG、フリーペーパー、アーラフレンドシップ会員への情報提供等により、公演情報をPRするとともにアーラのブランディングを行った。	通年
2	鑑賞モニター	市民の意見を反映した事業を展開するため、主要事業を鑑賞する鑑賞モニターを募集し、10人を選出した。懇談会を行い率直な意見をいただいた他、アーラの理念や事業などを直接説明することで、地域に根差した劇場への理解を深めた。	通年
3	私のあしながおじさんプロジェクト	企業・団体・個人からの寄付金を財源に、中高生に希望する公演チケットをプレゼントし、芸術鑑賞の機会を提供した。また「For Family」として、ひとり親家庭の親子、就学支援を受けている家庭に家族分のチケットをプレゼントし、家族間のコミュニケーションの促進を図った。令和元年度は146人にチケットをプレゼントした。	通年

その他

1

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した事業
(3月1日(日)～3月14日(土))

- ・3月1日(日)
アール紙芝居一座「紙芝居フェスティバル」
 - ・3月1日(日)～2日(月)
アール映画祭リクエスト上映「長いお別れ」
 - ・3月8日(日)
東日本大震災復興支援 祈りのコンサート2020
 - ・3月11日(水) 音楽家の集いvol.77
水野慎太郎&加藤真由美 タンゴ・アラカルト
 - ・3月14日(土) 音楽家の集いスペシャル
「おやこでうたうコンサート」
 - ・森山威男ドラム道場
 - ・みんなのピアノ プロジェクト
- ※公演のチケット代金の払い戻しを行った。